

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会議名 本巣松陽高等学校 学校運営協議会 (第3回)

2 開催日時 令和8年1月27日 (火) 13:20~15:20

3 開催場所 本巣松陽高等学校 銀杏館会議室

4 参加者
会長 川治 秀輝 本巣市教育長
副会長 長屋由喜子 公益財団法人加藤記念奨学会理事
委員 石川 孝信 もとす広域保護司 (欠席)
大草 由美 元PTA会長
近藤 邦明 PTA会長

学校側
下野 宗紀 校長
立川 茂 教頭
小県 佳子 事務長
日比 学 教務主任
山本 博 生徒指導主事
川田 朋子 進路指導主事
服部 晶子 研修主事
鈴木 優子 保健主事

5 会議の概要 (協議事項)

(1) 今年度の取組みに対する自己評価等

- ①学校経営全般について (校長)
②各校務分掌より (教務部長、研修主事、生徒指導部長、進路支援部長、保健主事)

- 意見1
- ・学校のテーマ「協奏」が浸透し、校長が色々なところに声かけしてもらえ、学校に活気が出てきているので、継続してほしい。
 - ・タブレット導入について、生徒、保護者が効果を実感できるよう、教材活用を一層進めてほしい。
 - ・自転車通学のスピードが危険で事故が心配。保護者の送迎マナーも含め、指導を強化継続してほしい。また、アレルギー対応なども重要であり、引き続き丁寧に取り組んでほしい。「安心して通わせられる学校」を期待したい。
 - ・進路指導において、小論文や面接指導の充実に感謝している。

- 意見2・タブレットは高額のため、管理方法の指導を徹底してほしい。また、インターネット環境の改善も進めてほしい。
- ・交通事故件数が多く、ヘルメット着用など安全指導の徹底の継続をお願いしたい。
 - ・教職員の救命・アレルギー研修は非常に良い取組である。
- 意見3・「群鶴」小論文での取組について、進路の小論文指導に関して、とても良い影響がある。本校の伝統的な取組であり進化、継続を期待している。今年の論文でAIと人間の付き合い方という視点は素晴らしい。
- ・学習環境が進化している。辞書アプリなど、学習環境がタブレットに集約されている点が評価できる。タブレットの管理徹底をお願いしたい。
 - ・いじめ対応は「思いやりを育てる」指導につながる。大切なことなので、今後も継続してほしい。また、生徒指導において、個々の教師が抱え込みず、組織的に対応することで細かい点も大切に対応できる。
- 意見4・今年度、学校テーマ「協奏」を大切にしながら、授業改善やタブレットの活用、探究学習の充実など、毎年着実に前向きな変化を続けていると感じている。先生方が一つになり、生徒の姿を丁寧に見取りながら、進路の小論文面接指導などにも全職員で取り組む姿勢は、生徒にも確かに伝わっている。
- ・本巣市内の学習支援活動「数楽校」では、高校の生徒が自分の言葉で小学生に教える姿が見られ、自ら判断し行動できる“自律の力”が育っていることを実感した。「協奏」の根底にある「独創の力」が確かに育まれているのではないか。
 - ・教務・探究・生徒指導・進路指導など、学校のあらゆる活動を通して、「生徒が自分の言葉で語れる」ようにする取組の広がりに期待している。心と身体の健康はその土台となる重要な要素であり、安心して学べる環境づくりに引き続き大切に取り組んでいただきたい。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、令和7年度の取組み状況についての報告と次年度に向かうための協議を行った。どの委員からも活発に意見が出され、今年度の評価と来年度への提言、意見交換を行った。委員のお一人お一人からは、よりよい学校環境を構築できるよう、温かい言葉を戴いた。来年度も、本校の魅力を最大限発信できるよう、本校の職員間で早速共有を図りたい。

今回の学校運営協議会でいただいた御意見をもとに、「『知・徳・体』の調和のとれた、人間性豊かでたくましく生きることのできる生徒の育成」という学校教育目標の実現に向けて積極的に改善を重ねていきたい。